

第262回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和8年6月23日（火） 15時00分～16時05分
場 所 甲府キャンパス大学本部棟第1会議室

出席者

（評議員）中村学長、黒澤・奥田・茅・高見・市川・木内・小林 各理事
幸田・中山 各副学長、長谷川・小泉・郷・岸上 各学域長、
服部附属図書館長、
清水・木島・宇賀・小林・垣尾・齊藤・大山・島・川村・飯山 各教授
（列席者）東海林・井上・小谷 各学長補佐、小俣・數野 各監事、
志村・石原 各副理事、雨宮・齊藤・斎藤・赤石・加勢・望月・京嶌 各部長
深澤・土屋 各特命参事、
永倉・植村・千野・藤田・金子・松崎・平・伊藤・四氏 各課長

議事要録確認

第261回教育研究評議会（R8.5.26開催）の議事要録を確認した。

報告事項

1 こども性暴力防止法への対応について

奥田理事から、資料1により、令和8年12月施行予定の「こども性暴力防止法」への対応として、本学の取組状況について報告があった。併せて、実習等分類フローなどに基づき、各部署における対象実習・活動の整理等を依頼しているので、ご協力いただきたい旨の依頼があった。

なお、長谷川教育学域長から、本対応の対象者は主として教員免許取得希望者であるため教育学部と連携しながら対応していきたいこと、また、附属学校は実習だけでなく従事者への対応も必要である旨の補足説明があった。

2 令和7年度卒業（修了）者の進路状況について

奥田理事から、資料2により、令和8年5月1日現在の標記進路状況について報告があった。併せて、進路未定・不明者の内定先等が決定した場合には、キャリアセンターに連絡をいただきたい旨の依頼があった。

なお、中村学長から、内定率は「成果を中心とする実績状況に基づく配分（共通指標）」の評価にも影響してくるため、進路未定・不明の学生の調査を適切に実施して協力いただきたい旨の発言があった。

3 山梨大学発ベンチャーの認定について

市川理事から、資料3により、新たに標記ベンチャーを認定（4件）したことについて報告があった。

4 「農・食・健康を統合する One health 教育研究ユニット」の設置について

黒澤理事から、資料4により、農・食・健康を統合的に捉える One Health という観点を軸に、実践的な教育・研究を学域横断的に推進することを目的として、生命環境学域に「農・食・健康を統合する One health 教育研究ユニット」を設置する旨の報告があった。

5 教員の採用報告について

高見理事から、資料5により、教員の採用（1名）を行ったことについて報告があった。

6 フィッシングメールの訓練結果について

高見理事から、資料6により、令和8年5月29日及び6月2日に、学内ユーザ全員を対象として実施したフィッシングメールの訓練結果について報告があった。併せて、多要素認証の必須化と情報セキュリティ教育強化を実施予定である旨の補足説明があった。

7 令和8年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分（共通指標）」の結果等について

市川理事から、資料7により、文部科学省からの基幹運営費交付金（基幹経費）のうち、評価項目に基づき配分される予算について報告があった。また、本評価結果を令和8年度の学域運営充実経費の予算配分額に反映させる旨の補足説明があった。

8 令和7年度 電気・ガス使用量及び使用金額について

市川理事から、資料8により、標記内容について報告があった。

9 令和7年度監査報告書及び監事監査意見書並びに令和8年度監事監査計画について

小俣監事から、資料9により、標記の報告及び意見書並びに監査計画について報告があった。併せて、同意見書を今後の業務運営等に役立てて欲しい旨の依頼があった。

10 令和7年度内部監査結果報告及び令和8年度内部監査計画について

山本監査室長から、資料10により、標記の報告及び監査計画について報告があった。

審議事項

1 大学間協定の更新（案）について

茅理事から、資料11により、ステレンボッシュ大学（南アフリカ共和国）と包括的な交流協定を締結する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 令和7年度補正予算 産業・科学革新人材事業（INSIGHT）への申請（案）について

茅理事から、資料12により、標記事業への申請について、本学では「機械・電気（電子）技術領域」を主たる領域とし、①省エネルギー・再生可能エネルギー分野、②モビリティ・輸送分野、③物性科学・マテリアル分野、④人工知能（AI）・IoT 分野、先端ロボティクス分野、⑤電子部品・デバイス分野（半導体等と重複）の5つの先端技術分野を対象として申請計画を策定する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 令和9年度医学部医学科の入学定員（案）について

黒澤理事から、資料13により、標記入学定員に係る増員期間延長手続を行う旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 令和7年度自己点検・評価（案）について

黒澤理事から、資料14により、標記自己点検・評価について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、市川理事から、「計画通り取り組めていない」と評価された、施設マネジメントスペースに関する項目について、本年度の重点課題として位置付け研究・教育活動に必要なスペースの確保を進めるとともに財政面への貢献も見据えたスペース活用の仕組みの構築を検討すること、また、現状把握のための調査を実施する際にはご協力いただきたい旨の発言があった。

5 第4期中期目標期間4年目終了時評価関係調書（達成状況報告書・業務実績報告書等）（案）について

黒澤理事から、資料15により、第4期4年目終了時（令和8年3月末）評価にあたり、大学改革支援・学位授与機構へ「達成状況報告書」（教育・研究関係）、文部科学省国立大学法人評価委員会へ「業務の実績に関する報告書」（業務運営・財務関係）を提出する必要がある、毎年度実施している自己点検・評価に基づき、各担当部署において4年間分（令和4～7年度）に係る報告書の作成及び各評価指標の達成状況（3段階）の判定を行い作成した原案について、大学評価本部において審議の上、実績報告書等を取り纏めた旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 ダイバーシティの推進（案）について

小林理事から、資料16により、大学を取り巻く環境の変化や、教職員・学生の多様化が進むことを踏まえ、一層のダイバーシティの推進に向けた取組を行うため「男女共同参画推進室」の名称を「ダイバーシティ推進室」に令和8年7月1日付けで変更するとともに、関係規則について一部改正する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 教員の処分（案）について

中村学長及び黒澤理事から、資料17（回収資料）により、教員による人権侵害行為に関し、人権侵害防止・対策委員会の審議を経て、人事委員会において、当該教員を懲戒処分に該当するものとして認定を行った旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 令和9年度概算要求（案）について

市川理事及び斎藤財務部長から、資料18により、標記概算要求において「教育研究組織改革」については継続2事業を選定し、「基盤的設備等整備」については設備マスタープランの整備計画表を改訂し同プランに基づき選定した旨の説明があった。併せて、要求順位等の取扱いについては学長一任としたい旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

9 大学管理スペースの使用許可（案）について

市川理事から、資料19により、標記使用許可（3件）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

・6月給与の誤支給について

高見理事から、6月給与（大学院担当における俸給の調整額等）に係る誤支給の内容および原因並びに今後の対応について説明があり、当該事案について人事担当理事としてお詫びする旨の発言があった。

なお、中村学長からも、運営の総責任者としてお詫びする旨の発言があった。

※ 次回は、令和8年7月28日（火）15時00分から開催することを確認した。